

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		市民の提案事業		担当課 秘書課
総合計画	政策	みんなで築くまち		計画期間 平成 5年度～
	施策	広聴と情報発信の充実		種別 任意的事務
	基本事業	広聴・情報公開の充実		市民協働
予算科目コード		01-020101-25 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市民の市政への参加促進を目的として、まちづくりに対するアイデアや各種の提案，要望，意見等を行政に反映させるため開始した。	市民から行政に対する提案・要望を広く求め，市民のニーズを把握するとともに，市政への参加意識を高める。 提案・要望に対しては，担当課が内容を調査・検討し，市長の決裁を経て回答する。 提案・要望の聴取手段は，広報紙とともに配布する「私の提案」の封書，市の7施設に設置した「投書箱」，市ホームページの「ご意見・ご提案」入力フォームなどによる。 市からの回答は，原則1週間以内に提案者に対して行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民に対し，市政に対する意見・要望を広く求め把握するとともに，市政への参加を促す。	
（参考）基本事業の目指す姿	
行政に意見や提案を伝える場や機会が十分にあることを市民が把握できるようにする。 市の施策や計画等について，市民からの意見を取り入れるなど，内容を知る（情報公開）機会を多くする。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
平成26年度は個人で多くの提案を頂いた方がいたが、平成27年度はそ の方の提案が減少した。より市民が市政に反映できる機会を増やせる ように検討する。	各担当課からの回答が1週間以内で行えるよう、私の提案システムを改 修し、今まで時間がかかっていた修正作業等の時間短縮を図った。ま た、私の提案制度の広報を強化し、多くの市民に制度を認識してもら い、より多くの市民からの提案・意見を聴取することで、市民の積極 的なまちづくりへの参加促進を図った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
提案・意見の件数（件）	662.00	349.00	204.00	250.00	300.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	行政運営に資するため、市民が意見や提案を伝える場や機会を設け、その意見を把握するための事業であり、市の施策や計画等に反映するため当該事業の意義は大きなものである。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	次年度は、市民の市政への参画や協働のまちづくりを推進するため、市民が必要な情報を必要な場所、必要なタイミングで容易に入手できる環境を整備することを目的に、市民向け携帯端末用アプリケーションを構築し、多くの市民から意見をもらう仕組みにすることで、より多くの提案・意見の聴取に取り組み、市民の市政への参加を促進する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	238	269	236	237	237
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	238	269	236	237	237
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	150.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	615	0	0
トータルコスト		238	269	851	237	237

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		審議会等公開制度事務		担当課 総務課
総合計画	政策	みんなで築くまち		計画期間 平成16年度～
	施策	広聴と情報発信の充実		種別 任意的事務
	基本事業	広聴・情報公開の充実		市民協働
予算科目コード		- -	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているのか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市の施策や計画等について、その形成過程や内容を知る機会（情報公開）を設けることで、市民の市政への理解を深めてもらう。	会議開催 1 週間前までに、市のホームページ及び庁舎掲示板に会議開催案内を掲載する。 会議開催後、会議録及び会議資料を市のホームページに掲載する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民に対して審議会等の会議や会議録等を公開することにより、市政の透明性や公平性を高め、市民の市政への参画を促す。	
（参考）基本事業の目指す姿	
行政に意見や提案を伝える場や機会が、十分にあることを市民が把握できるようにする。 市の施策や計画等について、市民からの意見を取り入れるなど、内容を知る（情報公開）機会を多くする。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
1 回当たりの傍聴者数は、平成 2 6 年度と比較して大きく減少した。審議内容により市民の関心度が左右されるため、成果の向上を図ることは難しいと考えるが、更なる制度の周知を図る必要がある。	会議開催決定から市ホームページ掲載までを迅速に行えるよう、担当課への周知徹底を図った。また、会議開催後、市ホームページへの会議録の掲載を速やかに行うため、会議録作成業務委託を一部（会議録作成に長期間要している審議会）実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
公開した会議の開催数（回）	81.00	64.00	61.00	65.00	65.00
傍聴者数（人）	97.00	68.00	55.00	70.00	70.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	審議内容により市民の関心度が左右されるため、成果の向上を図ることは難しいと考えるが、平成28年度から導入した、会議録作成業務の委託により迅速な対応に努め、制度の周知を図る。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持	☒ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	傍聴者数の増加は難しいところであるが、会議結果の迅速化や掲載方法を工夫し、審議内容がより理解しやすいものとし、市政への理解や透明性を高められるようにする。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	0	0	0	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	78.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	320	0	0
トータルコスト		0	0	320	0	0

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		市長との対話事業		担当課 秘書課
総合計画	政策	みんなで築くまち		計画期間 平成14年度～
	施策	広聴と情報発信の充実		種別 任意的事務
	基本事業	広聴・情報公開の充実		市民協働 その他
予算科目コード		01-0201 - 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市民との対話を通じ、市政やまちづくりに対する市民の生の声や意見，提案を広く聴き、今後の市政運営に活かす。	市長との対話を希望する5名以上の団体・グループと60分程度の意見交換を実施する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民の声に耳を傾け、市民ニーズを的確に捉えることにより、適正な市政運営の実施につなげる。	
（参考）基本事業の目指す姿	
行政に意見や提案を伝える場や機会が十分にあることを市民が把握できるようにする。 市の施策や計画等について、市民からの意見を取り入れるなど、市政への参画を促進する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
対話を希望する団体数が少ない状況にあるため、制度の更なる周知に努める。	今年度は、市長との対話を7回開催したが、多いとは言えない状況にあるので、今後も事業のPRを推進し、より多くの団体が市長と対話できるようにしていく。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
開催数（回）	4.00	3.00	7.00	10.00	15.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	ホームページ等で周知・募集を行ったが希望する団体が少なかった。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	多くの市民から市政に対する意見を聴くことは市政運営において必要不可欠であるため、今後も積極的にPRをしていく。また、次年度は市長とのタウンミーティングを開催し、その参加を契機として、当該事業の参加団体を増やしていく。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	0	0	0	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	7.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	29	0	0
トータルコスト		0	0	29	0	0